

メタセコイア

(土屋中学校の樹)

<学校教育目標>

夢に向かって

～生徒には夢を 保護者には感動を 職員には技を～

第8号

令和5年12月1日発行

さいたま市立土屋中学校

さいたま市西区土屋1766-1

TEL 048-622-4611

✉ tsuchiya-j@saitama-city.ed.jp

感謝

～我、土屋中にあり 断じて悔いなし！～

校長 澤田純一

すでに午後4時を回ると日は西に傾き、太陽は一日の終わりを告げるように柔らかい東雲色の光を放ちます。私は川越に住んでいますので帰宅時には荒川を渡る上江橋を西に向かって走ることになりますが、ちょうど午後5時くらいになると完全に沈み込む太陽がバックライトとなり秩父連山、富士山をうっすらと映し出し、これほど美しい情景がはたしてあるのだろうかと思嘆させられるほどのトワイライトゾーンが視界に飛び込みます。そして秩父連山の手前には、プルートの待つ我が町川越の夜景が広がります。このような風情ある景色を長年見ることができる幸せを感じながら家路につくのです。

さて、今年も終わりに近づいたところで、各自一年を振り返ってみましょう。いかがでしたか？365日毎日が決断です。うまくいくこともあればそうでないこともあったでしょう。そして、腹の立つ時や泣きたいとき、加えて、自分を否定してしまうこともあったでしょう。しかし、私は知っています。他者と協力し学校行事に取り組んだ人、クラスのために頑張った人、学校の看板を背負い競技に臨んだ人、毎日掃除をまじめにした人、友に優しく接した人、笑顔で周囲を明るくした人、元気に登校した人、勉強に励んだ人、部活に力を尽くした人など本校にはかけがえない皆さんがいることを。なので、皆さんは今年一年を悔やむことは何もないし、くよくよすることはないです。すべての苦悩や難局は引きずらず、新しい年を迎えてほしいと願っています。私自身も学校とは、教師とは、授業とはなど振り返り、その考えに間違いがなかったか否かと省みると人間ですから失敗も反省もあります。しかし、卑怯なことはしなかったか、辛いことから逃げ出さなかったかなど根本的な生き方、考え方に恥じることは何もありませんし、そのことについて今後も変わらないと思います。私は、過去は引きずらないのです。バイクとともに思い出も後悔も走り去るのです。それよりも、新しい年のはじまりを喜び合ひましょう。そして、新年も皆さんと喜怒哀楽を共にし、試練を乗り越えていきましょう。

余談ですが、「師走」とは12月の異称であり、「経をあげるために師僧が東西を馳せ走る月」であることが語源説になっています。最近の風説では、「学校の先生は、2学期の成績付けや入試に向けて調査書の用意、そして3学期の準備に追われる」ことから教師も走るほど忙しい月と誤って使われることもあります。実は師走の師は教師ではなくお坊さんのことだったのでね。ただし、本校の先生方は、皆さんのために全力で汗をかいていますので、あながち間違いではないのかもしれませんが。

今年一年、多くの人に支えられた一年でした。生徒、保護者・地域の方、そして職員には「土屋中に生きること、断じて悔いなし」との思いを抱かせてもらいました。「ありがとうございます」と感謝の気持ちで今年を終えます。それでは、また来年。よいお年をお迎えください！！

🍀 来年もヨロシク！元気に三学期を迎えてね！